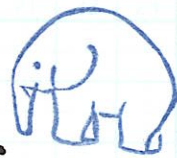


だうホームだより

R.2.6.15



園生活が始まり お家の人と温かく送ってもらい子ども達は安心して音戸屋へ入ってきてくれます。
コロナ感染予防に対しては 色々な面でのご協力 本当にありがとうございます。
晴れた日には、朝の用意を おまへ 中島子さんがついて 園庭へ走っていく子ども達。どろんこあそび
色水あそび 水あそび 虫さし お砂あそび.. 自分と友達は場所やを分けて楽しくあそんでいます。
毎日のお洗濯ありがとうございます。外へ部屋へあそびは、「早く明日もしょうという声も聞けて嬉しいです。
これから暑い日が続くので水分補給し 熱中症には、気を付けていきたいと思っています。



お兄さんの
作ったものが
楽しそうに
させてもらってよ
マレ

。おもしろいよ



“誰かお水出てー”
の声を
聞いて
お水出
てくれたよ

きもち
いいな



どろんこ
あそび

◎ 混合保育はこんな願いをもっています。

- ・ 生活の仕方がわり自分と違うと 気持ち育つ・

ホームは 3.4.5歳の異年齢の子ども達が生活を送っています。それぞれの年齢がたくましく
ことを身につけていきます。小さい子は 大きい子のやっているのを見て “かっこいい” “お兄さん風にはいた”
と真似をしたり。憧れの気持ちを抱くようになります。大きい子は 誰かに言われたから
おのずから ホームの中自然と小さい子の姿に目を向け声をかけてあげたり 手伝ってあげたりする
ことで自信と誇りがもてるようになります。子ども達自身が主体的に 学ぶ 行動する
力を付けて欲しいと願っています。



お兄さんの
園でいたら
助けてくれたよ

- ・ 一人一人のちがいに 気き 思いやりや 親しみの 気持ちをもつ・

園の生活の中自分と違いが違ったり 思っていることが言えず 困っていたり 時には泣いてしまうこともあ
ります。そんな時に 大きい子が “お兄さん?” と声をかけてくれて 小さい子の気持ちを察したため代弁してくれたり
思いやりの気持ちをもち 接してくれることと思います。手を差し伸べてくれる お兄さん お姉さん いると 親しみの
気持ちをもち 安心して過ごせるようになって欲しいと思います。大きい子は 今まで自分が助けてもらったり
優しくしてもらっていたことを 心に受け止め 今度は自分が小さい子に やってあげようという気持ちが自然と育っていきます。
小さい子の姿を見て 大きい子は “自分もそうやって” と思える場面もあります。異年齢で過ごすから 一人一人の
違いに 気き 思いやりや 親しみがもてるのだと思います。子ども達 同士の関わりを大切に 友だちの姿から 気き
学んでいく姿を お家の人と 共に見守っていただくと嬉しいです。

年齢のわかれ

5歳: 仲間のことを考えながら行動する

4歳: 友だちとの関わりを深め一緒に遊ぶ楽しさや面白さを味わう

3歳: 保育者や友達と関わりながら
遊ぶことを楽しむ